

平成31年3月13日

宇部市長 様

宇部市地域創生事業助成金実績報告書

団体名 船木校区コミュニティ推進協議会
 代表者氏名 会長 長谷川 典彦



平成30年6月28日付け指令宇コ共第 8 号に係る事業が次のとおり完了したので報告します。

事業名	船木校区中期ビジョン（地域計画）4大テーマの施策展開
事業の完了年月日	平成31年2月28日
事業の総括について	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年7月から取り組んできた中期ビジョンの4大テーマについて、更なる施策展開をすることができた。『安心・安全の強化』では、総合防災訓練の実施、防災講演会の開催、スタッフジャンパー、帽子の整備、『子育て支援強化』では、七夕まつりの継続開催、子ども会・PTAの困りごとへの支援、『新規行事の創出』では、千林尼石畳の整備、そば打ち体験の備品の整備について、それぞれに大きな成果があった。
事業の達成度について (参加人数等)	<ul style="list-style-type: none"> そば打ち体験の整備では、そば打ちセットを整備することで、メンバーのそば打ち研修を充実させることができた。石畳の整備では、2回合計46名の中学生の参加を得て、より広範囲な整備ができた。 総合防災訓練では、47名の参加を得て、課題も多く出たが、有意義な訓練ができた。今後の取り組みの方向性も見えてきた。
助成事業等の効果について (期待した効果は得られたか)	<ul style="list-style-type: none"> 「子育て支援強化」で行った「七夕コンテスト」では、昨年同様土曜夏祭りとのコラボという形で行ったが、子どもとその保護者とで100名近い参加者があったこと、笹飾りを地域の盆踊りに活用できたことなど活性化に大いに貢献できた。 「史跡千林尼の石畳の整備」では、多くの中学生のボランティアに参加してもらうことにより、史跡保護に対する取り組みの継承をすることができた。
評価や反省を踏まえた今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 総合防災訓練実施後の課題（緊急連絡網・対策本部組織）の整理と災害対応体制の構築 千林尼石畳・船木そばづくり体験を活用したイベントの開催

添付書類

助成事業決算書
 帳簿（写）

その他事業の執行に必要な書類（写真等）